

# 第3学年1組 図画工作科学習指導案

指導者

## 1. 題材名 高くらの町を笑顔にするカラフルモンスター

A表現(2)立体

### 2. 題材設定の理由

○ 本学級の多くの児童は、自分なりの考えをもち、それを表現したいという思いをもっている。現在、3年生の総合的な学習の時間では、「笑顔いっぱい高くらの町」に取り組んでおり、学年全員で地域に花を植えたり、花を植えた感想カードをかいたりしている。地域を笑顔にしたいという気持ちだが、3年生全体に広がっている。児童が図画工作科の学習において、カラフルモンスターをつくり、高くらの町に存在させることで、「高くらの町がもっと笑顔になることにつながる。」と、総合的な学習の時間でも、学習意欲を高めていくことができると考える。

事前アンケートでは、図画工作科の学習時間が「好き」と答えた児童が86%いた。また、ほとんどの児童が、粘土を使つての学習が、「好き」と答えた。しかし、軽量紙粘土に絵の具を練り込ませて、カラフル粘土をつくった経験がある児童はわずかである。「絵画」では、色や形から発想を広げていくという経験をしているが、軽量紙粘土に絵の具を練り込み、柔らかい色合いのカラフル粘土から、色や形について発想を広げていく体験はしていない。このことから、軽量紙粘土にポスターカラーを練り込んだカラフルモンスターづくりの学習を計画することにした。「高くらの町を笑顔いっぱいにしたい。」という思いをもちながら、イメージしたモンスターの色や形をカラフル粘土で夢中でつくり、自分の思いを表現できる児童の育成をねらって、本題材を設定した。

○ 本題材は、軽量紙ねん土で地域の人達が笑顔になるカラフルモンスターの形や色を工夫することを通して、形や色、方法や材料を工夫する力を培うことを目標としている。軽量紙粘土に絵の具を練り込み、柔らかな色調の粘土を主につくる。その色や質感を楽しみながら、形や色の組み合わせを工夫し、自分がイメージしたカラフルモンスターをつくる内容である。

本題材では、2年生の題材「ひみつのグアナコ」・「ぼかし遊び」での学習を生かしながら、軽量紙粘土に絵の具を練り込む技法を使い、つくった粘土で自分がイメージしたカラフルモンスター(立体)に表す力を伸ばし、4年生の「自分いろがみ」・「リズムにのって」などの学習につながるようにしたい。

### 3. 研究の着眼点

#### 【視点1】題材設定や展開の仕方を工夫する視点から

##### ① 題材設定について

総合的な学習の時間で取り組んでいる、「笑顔いっぱい高くらの町」から、「笑顔」になる色や形についてイメージをふくらませ、立体に表していく力を伸ばしたいと思い、本題材を設定することにした。

##### ② 題材との出会わせ方や展開の工夫について

「であう」段階では、総合的な学習の時間で取り組んでいる、「笑顔いっぱい高くらの町」と関連付け、「笑顔」・「楽しい通学路」から発想するカラフルモンスターのイメージ図をつくって

いくことで、児童の意欲を高めるようにした。また、「笑顔になるカラフルモンスター」の基本色や各パーツのカラフルねん土をつくり、お気に入りのカラフルねん土をみんなに紹介していく「カラフル粘土コレクション」で色の名前やつくり方の共有を図ることで、カラフル粘土についての言葉（言葉のパレットづくり）を豊かにしていく。1人一袋（LLサイズ）の軽量紙粘土・ポスターカラーを用意する。

「みつける・あらわす」では、ふりかえりシートを基に、自分がつくるモンスターのイメージをふくらませて、総合的な学習の時間「笑顔いっぱい高くらの町」と関連付け、「高くらの町がもっと笑顔になることにつながる。」ことを意識させながらカラフルモンスターをつくるようにする。高くらの町にカラフルモンスターを存在させることで、図画工作科だけでなく、総合的な学習の時間においても、学習意欲を高めていくように題材設定の工夫をした。さらに、2年生の生活科単元「まちたんけん」のときに、カラフルモンスターを登場させ、「2年生を笑顔にする」という相手意識をもたせ、製作意欲を高めた。実際の活動場面では、色合いや形をイメージしやすくするために、カラフルモンスターの住みかに設定した場所の写真を手元に置くようにする。芯材は、加工しやすく、身近なアルミ缶を用いる。また、カラフルモンスター一体あたりのサイズをある程度設定することで、児童にカラフルモンスターのサイズ感を理解させ製作の見通しをもたせる。

「あじわう」では、児童がつくったカラフルモンスターを住みかと設定した場所に置いて写真撮影をし、自分のイメージと比べながら鑑賞する。また、高くらの町を笑顔にするカラフルモンスターの製作過程や特徴などを記録した「カラフルモンスター誕生物語（がんばったよカード）」をつくり、交流しながら「カラフルモンスター」を鑑賞し合うようにする。さらに、高蔵市民センターや地域に紹介カードなどを置き、地域の方からの感想をもらうことで、児童たちの学習意欲を一層高めることにつなげたい。

## 【視点2】言語活動の場や方法を工夫する視点から

### ① 感じたことを共有する言語活動について

「カラフルねん土コレクション」の活動で、見つけた面白い色や形について名前を付けて立体に表す活動に結び付けることで、より自分がイメージしたカラフルモンスターをつくるようにする。（言葉のパレット）

### ③ 対話から生まれる言語活動について

本題材においては、「ふりかえりシート」でカラフル粘土づくり活動中の発見や気付いたことについて注目させる。ふりかえりシート内の「モンスターづくり記録」や「カラフルモンスター誕生物語」によって自分の活動を振り返る。

## 4. 特別な教育的支援を要する児童・生徒に対する指導上の工夫・手立て

**別紙参照** ※別紙については、協議会后、回収します。

## 5. 目標

造形への 関心・意欲・態度	○ 紙粘土で高くらの町を笑顔にするカラフルモンスターをつくることを楽しもうとする。
発想や構想の能力	○ 高くらの町にいたら笑顔になれるカラフルモンスターを思い付くことができる。

創造的な技能	○ カラフルモンスターの形や色の組み合わせを工夫することができる。
鑑賞の能力	○ 互いのつくったものを紹介し合うなどして、よさを味わうことができる。

### 6. 指導計画と評価計画（総時数5時間）

	主な学習活動・内容	指導・支援上の留意点 ◎言語活動	評価規準および評価方法
で あ う	<p>1. カラフルモンスターのイメージ図をつくる。 ①</p> <p>(1) 「笑顔」・「楽しい通学路」という言葉から発想するカラフルモンスターについて考える。</p> <p>(2) まとまった考えをイメージ図にする。</p> <p>2. イメージ図に合ったカラフル粘土とクラスのカラフルねん土コレクションづくりをする。 ①</p> <p>(1) 絵の具の量や、混ぜる色の組み合わせを試しながら自分だけのカラフル粘土をつくる。</p> <p>(2) お気に入りのカラフル粘土でクラスのコレクションをつくる。</p>	<p>○ 総合的な学習の時間を振り返らせ、「笑顔」・「楽しい通学路」という言葉とカラフルモンスターとのつながりを意識できるようにする。</p> <p>○ これまでの活動や通学路の写真を提示し、カラフルモンスターのイメージ図づくりに役立たせるようにする。</p> <p>○ 教師がカラフル粘土をつくって見せたり、カラフル粘土を使った作品を見たりして、どの様に工夫されているかを話し合いながら、活動していくようにする。</p> <p>○ 自分がイメージしたカラフルモンスターの色を意識してポスターカラーを混ぜたり、混ぜる量をつかませたりさせる。</p> <p>○ お気に入りのカラフル粘土を出し合い、クラスのカラフル粘土コレクションをつくっていくようにする。</p> <p>◎ <u>クラスのカラフル粘土コレクションについて、よさや面白さ、作り方などを交流するようにする。</u></p>	<p>【関】【発】カラフルモンスターについて考えをまとめ、イメージ図をつくろうとしている。 (行動観察・イメージ図)</p> <p>【関】ポスターカラーなどの描画材料を用いた「カラフル粘土づくり」に進んで取り組み、いろいろな色のバリエーションや組み合わせの効果などを自分の「カラフル粘土コレクション」づくりに生かそうとしている。 (行動観察、作品)</p>
み つ け る ・ あ	<p>3. 自分が準備したカラフルねん土を使って、自分が表したいカラフルモンスターを表す。 ②</p> <p>&lt;本時2/2&gt;</p>	<p>◎ <u>どの「カラフルねん土」のどんな感じを使って自分のカラフルモンスターを表すのかを交流する。(ペアでイメージ図を確認し合う。)</u></p> <p>○ カラフル粘土コレクションや「ふりかえりシート」を参考に、</p>	<p>【創】カラフル粘土の色や形の変化のおもしろさを生かして、自分の考えたカラフルモンスターを立体に表している。 (作品、行動観察)</p>

ら わ す		<p>前時の評価や個々に指導したいポイントを示した座席表を作成し、より有効な支援ができるようにする。</p> <p>○ カラフルモンスターづくりのベースとなる色は変えずにつくることを伝えておく。</p> <p>○ 「モンスターづくり記録」に、高くらの町が笑顔いっぱいになるための工夫を記入させるようにする。</p>	
あ じ わ う	<p>4.「モンスターづくり記録」をふりかえり、「カラフルモンスター誕生物語」をつくって交流する。 ①</p> <p>(1) これまでの「モンスターづくり記録」を確認する。</p> <p>(2) 「カラフルモンスター誕生物語」をつくる。</p> <p>(3) 交流する。</p>	<p>○ 「カラフルモンスター誕生物語」に、高くらの町が笑顔いっぱいになるための工夫を記入させるようにする。</p> <p>◎ <u>「モンスターづくり記録」を基に製作過程をまとめ、「カラフルモンスター誕生物語」をつくる活動の中で、自分の作品と対話し、色や形、材料に関すること、カラフルモンスターの特徴や面白さについて友達と交流するようにする。</u></p>	<p>【鑑】自分や友だちのカラフルモンスターのおもしろさや、表したもののよさに気付くことができる。</p> <p>(ふりかえりシート・行動観察)</p>

7. 本時の学習 平成29年10月6日(金) 第5校時 理科室

(1) 主眼

カラフル粘土を使って、色や形の組み合わせを工夫しながらイメージしたカラフルモンスターをつくる活動を通して、色や形の組み合わせのおもしろさを生かし、自分の思いがこめられた作品をつくることができる。

(2) 準備

- ① 教師 軽量紙粘土、粘土板、粘土ベラ、粘土のべ棒、木工用ボンド、ジップロックビニル袋、手拭きタオル、アルミ缶
- ② 児童 保湿用タオル、汚れてもよい服装、思いついた材料、支持体となる材料

(3) 展開

	主な学習活動・内容	○ 指導・支援上の留意点【観点】評価規準（評価方法）															
であう	<p>1. 前時学習を想起し、本時のめあてを確かめる。</p> <p>(1) カラフルねん土やカラフルねん土コレクションを見て、簡単に振り返る。</p> <p>(2) イメージ図を基に、使いたいお気に入りの「カラフルねん土」について交流する。</p> <p>(3) 接着などの製作上のポイントを振り返る。</p>	<p>○ 「言葉のパレット」を提示し、前時につくったカラフル粘土やカラフル粘土コレクションから、「高くらの町を笑顔にするカラフルモンスター」づくりの見通しをもつことができるようにする。</p> <p>○ 支援を要する児童には、ベースとなる色は変えずに「カラフル粘土」の組み合わせを考えるように伝える。</p> <p>◎ <u>どの「カラフル粘土」のどんな感じを使って、カラフルモンスターを表すのかを交流する。</u></p> <div data-bbox="722 656 847 801" style="display: inline-block; vertical-align: middle;"> </div> <div data-bbox="863 656 1465 801" style="display: inline-block; vertical-align: middle; border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px;"> <p>わたしは、薄水色と白のマーブルに、明るい色をたくさん使った「水を大切にする、さわやかカラフルモンスター」をつくりたいです。</p> </div> <p>○ 「接着・支持の匠」の技を確認して、作業に取り掛からせる。</p>															
<p>めあて 色や形の組み合わせを考えて、「高くらの町を笑顔にするカラフルモンスター」をつくらう。</p>																	
みつける・あらわす	<p>2. いろいろな「カラフル粘土」のおもしろさを生かして、立体に表す。</p> <div data-bbox="233 1144 544 1317" style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; display: inline-block;"> <p>写真の場所にモンスターがいそうな色や形やね。</p> </div> <div data-bbox="544 1234 663 1357" style="display: inline-block; vertical-align: middle;"> </div> <p>≪机上図≫</p> <div data-bbox="268 1395 560 2022" style="display: inline-block; vertical-align: middle;"> <p style="text-align: center;">教師用黒板</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td style="text-align: center;">粘土板</td> <td style="text-align: center;">ふりかえりシート</td> <td style="text-align: center;">粘土板</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">水配</td> <td style="text-align: center;">河水</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center;">カラフル粘土 つくり場</td> </tr> </table> </div>	粘土板	ふりかえりシート	粘土板	○	○	○	○	○	○	水配	河水		カラフル粘土 つくり場			<p><b>予想されるつまずきに対する具体的な支援</b></p> <p>◆ 発想や構想でつまずき活動が進まない子どもに対する支援⇒</p> <p>①「言葉のパレット」にある言葉や、通学路の写真を基に声かけをし、児童の言葉を補っていくことで、イメージに合った「カラフル粘土」を自分で選択して、表現することができるようにする。</p> <p>②「ふりかえりシート」や「カラフル粘土コレクション」などを参考に、前時の評価や指導したいポイントを示した座席表を作成し、有効な支援ができるようにする。</p> <p>◆ 技能的な面でつまずいている子どもに対する支援⇒</p> <p>①「接着・支持」については、接着や支持の仕方について、個別に配付した「接着・支持の匠シート」で再確認させる。</p> <p>②教師が実演して見せる。</p> <p>【創】カラフル粘土による色や形の変化のおもしろさを生かして、自分の考えた「高くらの町を笑顔にするカラフルモンスター」を立体に表している。</p> <p style="text-align: right;">（作品分析，行動観察）</p>
粘土板	ふりかえりシート	粘土板															
○	○	○															
○	○	○															
水配	河水																
カラフル粘土 つくり場																	

あ じ わ う	<p>3. 今日の学習で見つけたおもしろい形や色について「ふりかえりシート（モンスターづくり記録）」にかき、カラフルモンスターの発表をし合おう。</p>	<p>◎ <u>自分の作品や友達の作品のおすすめカラフルモンスターについて、全体で交流する。</u>（高くらの町が笑顔いっぱいになるための工夫を記入させるようにする。）</p> <div data-bbox="710 302 869 425"> </div> <div data-bbox="922 315 1458 533"> <p>三角形の顔の形とさわやかイエローが目立つモンスターを見ると、ひまわりの花のような元気が伝わって、笑顔になると思いました。</p> </div>
------------------	------------------------------------------------------------------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

今日の学習で目指す「熱中する子どもの姿」

自分がイメージしたカラフルモンスターに合うカラフル粘土の色や形，組み合わせを「しこう」（思考・試行）しながら，「高くらの町を笑顔にするカラフルモンスター」の完成に向けて，創造活動に取り組む子ども。